

“ヒップでスマートでハートフルな
ロマンティック・コメディ”
ローレン・ポストン・グローブ紙
キング

Kissing Jessica Stein

恋愛になると、
ジェシカはストレートに考えられなくなる。



もうひとつ「ブリジット・ジョーンズの日記」は、 ニューヨーク・スタイルの“ストレートな”ラブ・ストーリー

Kissing jessica Stein

映画「ブリジット・ジョーンズの日記」、人気TVドラマ「アリー myラブ」や「SEX and the CITY」などのブームで、仕事も恋もつかうとする等身大のシングル女性をヒロインにした作品は今や人気のジャンル。

誰かを好きになって、最初にデートをして、最初に指が触れ合う瞬間、最初に肩を抱かれるタイミング、最初にキスするきっかけ、最初のペッティン——大人の女性として何度も恋を重ねても、新しい恋は眞面目な気持ちで始まる。そんな誰もが感じるドキドキと一緒に体験させてくれる「Kissing ジェシカ」。

「運命の人」を探していたジェシカが好きになってしまったのはなんと女性。予想してなかつた“新しい形の恋愛”に戸惑いながらも、自分の気持ちに正直に恋をしようとするジェシカ。

さまざまな人種や宗教や思想の人々が集まる大都会ニューヨークで、ジェシカのNYスタイルのキュートなラブ・ストーリーが始まります。



・ジェシカ

ただ今28才。仕事は「ニューヨーク・トリビューン」紙のエディター。どこかにいる本当の“運命の人”を探してデートを繰り返すけど、まだめぐり逢えない。大学時代の力だったジョシーは、今では職場のボム。まったく意識していないといえば嘘になる。母親は結婚しうとうさしい、兄貴は婚約、友達は妊娠。

そんな時心を引かれたのが、「バイレッジ・ヴァイス」に載っていた恋人募集の個人広告。大好きなリリケの詩を引用したこの広告を出したのは、もしかして私の“運命の人”？ だけどその相手が“女性の恋人を探す女性”だなんて！

“運命の人”は1人じゃない。
7人くらいいるかもね。

みんなにチャンスと愛を運んだ 「Kissing ジェシカ」

「Kissing ジェシカ」がアメリカで公開されると、いつもはこそつて辛い点をつける映画評論家たちがこの愛すべき映画に夢中になり、主要な雑誌＆新聞の映画評では94%が“すばらしい作品”とたばめる異常事態。（「アメリ」が76%で「ブリジット・ジョーンズの日記」が78%）監督はこの映画でデビューを飾ったチャーレズ・ハーマン＝フォームフェルド。この作品の成功で、彼は全世界で大ヒットした「キューティ・ブランド」の続編の大抜擢。

主演のジェシカとヘレンを演じるのはこの作品の脚本を書いて映画化と主演を実現させたラッキー・ガール2人、ジェニファー・ウエストフェルトとヘザー・ジャーゲンセン。



・ジョシー

「ニューヨーク・トリビューン」紙のチーフ・エディター。タンのエリエサーにある画廊のアシスタント・ディレクター。ほんとは“ストレート”で男性が好き。同性との恋愛に興味を持ち、“お試しゲイ”になってみることにする。恋人募集の広告でねらっているのは“ストレートな”バージン。

口紅にはござわりがあって、MACのバイヴァー・グラム36&ブリスクリプティブのブードル&フィロソフィーのスーパーバナチュラル・ヌードの3つを重ね塗りするのがお気に入り！

3月ロードショー

「ニューヨーク・トリビューン」紙のチーフ・エディター
でジェシカの現ボス（元夫）。友達の妹だったジェシカと大学時代1年ほどつきあっていた。デートの相手には苦労しないが、まだジェシカのことがちゅうと気になつていて、しつちゅうケンカ腰。偉大な作家になろうと“第二のヘミングウェイ”を目指していたが、今では自分より才能

のない連中の原稿をボソにするのが喜び。

お得な前売り鑑賞券発売中
1,500円（当日券一般）

梅田ロフトB1
06(6359)1080

大阪東側 神戸朝日ビルディングB1F
078(334)2126

http://www.cinemabox.com/
※混雑時、整理券配布する場合がございます。

※各回入替制／毎日、整理券券付当日券を発行します。